

会 議 議 事 録

会 議 名	平成28年度 第2回 学校関係者評価委員会	専門学校 東京工科自動車大学校
開催日時	平成28年11月2日 (水) 18時～20時	
会 場	専門学校 東京工科自動車大学校 123教室	
参 加 者	委員	7人 (参加者：7名) 浅古純一・佐々木洋文・及川順一朗 田中洋子・齋藤昭男・沼田 勇・大石安孝
	事務局	3人 佐藤康夫・山口泰之・戸辺武
会 議 録	<p>1. 校長挨拶 佐藤校長より、本学校関係者評価委員会開催に向けての挨拶が話された。</p> <p>2. 委員会成立の確認 事務局（山口副校長）より、会則第5条の2に基づき、出席者が委員総数の過半の出席を満たしているため成立していることを確認した。</p> <p>3. 学校関係者評価委員会・事務局メンバー確認 および 議長、書記選出 学校関係者評価委員会と事務局メンバーの確認を行ない、議長に委員長の浅古氏、書記に及川氏が選任された。</p> <p>4. 議事</p> <p>○第1号議案</p> <p>・前回議事録確認 【資料A】 事務局（戸辺）より、資料A（平成28年度第1回学校関係者評価委員会会議議事録）に沿って前回議事録についての概要説明及び確認が行われた。</p> <p>○第2号議案 【資料B】</p> <p>・公開情報更新について [資料B] 平成28年度公開情報について事務局（山口副校長）が概要の説明・確認がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度8月に情報更新実施済みの報告 ・更新履歴内容の説明 <p>○第3号議案 【資料B】</p> <p>・平成28年度の取り組みに関する進捗状況 平成28年度の取り組みに関する進捗状況に関して事務局(山口副校長) より以下の説明がなされた。</p> <p>①就職</p> <p>a.卒業年度生の就職内定率 中野校全体 : 8月末目標80%を達成。</p>	

自動車整備科（2年生）：留学生等の数名の未内定者がいる。

12月末100%を目指している

エンジンメンテナンス科（2年生）：レース業界を目指す学生の内定時期が年明けからのため未内定者が数名いる。

1級自動車整備科（4年生）：7月末時点で100%（目標100%）内定達成。

b.次年度就職学生に対しての取り組み

- ・企業研修：本年度の実績及び実施予定の研修の報告
 - ・就職プログラム：本年度の実績及び実施予定の内容の報告
- 企業研究会（東京ビックサイト 1/13実施予定）

②企業連携実習

本年度企業連携実習の実績及び実施予定の内容の報告

③国家試験対策

- ・ガス溶接、危険物乙種4類、ソーシャル検定、二級2輪自動車整備士資格
- 危険物については昨年より低下、ソーシャル上級、二級二輪は向上している。
危険物、ソーシャルは留学生が苦戦している。

職業訓練指導員：来年1月試験に向けて取り組んでいる

- ・1級登録試験の取組について

意識づけ：新年度から始めている。 対策についても早めに始めている

7月20日頃までにインターンシップを終了するよう企業様にも協力依頼を行ない、
8月末までには過去問題をクリアできるように取り組んだ。世田谷校と共通模擬試験も実施。現在のところ順調に推移している。

- ・1級4年インターンシップ

本年度1級自動車整備科4年生 インターンシップについての報告

- ・地域活動への参加

今年度現時点までの地域活動への参加状況の報告

祭の準備、片付けなど学生と教員が連携し積極的な参加を行った。担当教員も若手を起用し、世代交代を図っている。

④教員研修

- ・本年度の実績及び実施予定の研修の報告

新技術、指導法、留学生受け入れ等教職員のFD、SDを高めるための研修を実施。

【意見・質問等】

田中：祭りの神酒所設営を始め、お祭り、解体までたくさんの学生さんが参加していただいた。地区祭りについても同様たくさんの学生さんが手伝っていただき、感謝しております。

及川：インターンシップについて

会社に工業高校の生徒さんが3名インターンシップで来る予定

浅古：アドミッションポリシーについて

一芸入学（スポーツ等）、同じことを何年も続けているとか、我慢強さ、協調性など

どんな範囲まで基準を作っていくのか。

山口：興味関心、今までの学習でどんな成果を上げているかなど、大学の一芸入学ほどではないが、本人の持っている能力を評価していく予定。来年の入学試験から適用できるよう準備中である。

浅古：高校などでは成績は少し基準に足りない場合などに、継続して行なっていたものがある場合、プラス評価として認めることなどもあった方が良いのでは。各クラスにリーダー適正のある者を1名～数名など振り分けて構成するなどの工夫はどうか。

佐藤：どのような学生に入学してもらいたいかがアドミッションポリシー、出口である企業の求める人材育成目標であるディプロマポリシー、またカリキュラムポリシーの3つのポリシーがある。こういう人であれば個人の長所を活かし、当校に入って社会で活躍できるというのをアドミッションポリシーとして、現在作成中である。

佐々木：職業を通じての社会貢献が重要。振興会として地域でイベントを実施している。整備振興会としての宣伝を行なっているが、是非そこにも学生の参加協力をしてもらいたい。一般の人にも整備士という職業の宣伝にもなるので、そのような活動もしてはどうか。

佐藤：是非参加したいと思う。世田谷校では以前から整備振興会のイベントのお手伝いに参加させていただいている。当校としても是非来年から取り組みたい。

佐々木：外向けのイベントに参加すると社会性も身につくと思う。

齋藤：18歳人口の減少で整備業界以外でも人出不足が深刻。車好きの高校生を探すのではなく、狙いは高校生ではなく、中学生・小学生をターゲットにしていくべきだと思う。我々企業としても新入社員の教育・研修についても悩んでいて、転換点だと感じている。留学生も受け入れについては日本語の問題もある。留学生優遇等も含めて学校も企業も変わっていかなくてはならないと実感している。今まで以上に学校と企業が連携していかないといけないと感じている。

大石：企業実習　トラック・バスに興味がある学生は少ない。現在、宣伝を含めてのチームに入っている。どのように大型車の魅力を伝えていくか悩んでいる。社員の教育についても、どのように持っていくかとても悩ましいところである。

沼田：地域貢献は大変重要なポイントである。企業でも昔は地域に根ざした営業活動が重要であったが、現在はなかなか難しい。企業では業界の中身を変えていく方向である。働く人を確保するのに、企業自体の活動が変わってきている。会社の良いところをアピールできないと選んでもらえない。社員の教育に当てる時間を増やし、社員同士がコミュニケーションを取ることをたくさん行なっている。

浅古：町工場であっても人員確保に向けて来年から週休二日を行う。‘働く’という観点が変わってきている。「生きること」から「プライベートを充実させること」へ変わってきている。人は何を守るかによって人生が決まる。何に重点を置いて働くか人それぞれに異なるため、様々な働き方が選択できないと人が来てくれない。町工場は非常に厳しいのが現状である。人材確保がとても難しい、深刻な問題である。

佐々木：今後生産が多国化していくのは避けられない。国際性を求められるメカニックが

必要とされる時期が間もなく来ると思う。職業人を輩出する学校はもっとグローバル化が必要となるのではないか。職業人を採す側の企業の動きをいち早く察知しておかないと、学校はついていけないのでは。

大石：実際に海外に行ける技術者を社内で集めている。留学生を受け入れる準備はできている。

浅古：優秀な留学生を確保するためには、企業側から枠をいただいて、「就職付き」で留学生を集めるとかなり優秀な人材があつまるのではないか。

佐藤：実は品川校の1級科のコンセプトは「グローバル」で実施しており、募集活動をしている。

○第4号議案

- ・委員の任期満了に伴う平成29年度委員について [資料C]

委員の任期についての再確認と29年度委員の考え方についての説明と承認

教育課程編成委員会と一部の委員が重複しているため、29年度委員の再編について委員である企業の負担軽減を考慮して行っていきたい。

地域の方や在校生の保護者の方、卒業生の方ではできれば続けていただきたい。

○第5号議案

- ・平成28年度自己点検評価について

H28 自己評価のスケジュールの説明

- ・事務連絡

- ・自己点検評価の御協力をお願い

- ・プロジェクトセミナー成果発表会のご案内

次回日程の確認

- ・平成29年度 第1回学校関係者評価委員会開催日程（平成29年7月予定）の確認がなされ、委員全員の確認を得た。

以上

会議風景

